秋季大会における競技運営上の新型コロナウイルス感染症及び熱中症の予防対策について（競技部より）

① 開閉会式は行わない。監督会議は各会場で行う。表彰式はコート表彰とする。

② 個人賞は本人のみ本部へ来て賞状を受け取ること。（チームでの本部あいさつは不要とする。）

③ ベンチスタッフは上着のみ揃えていればよいこととする。（ハーフパンツの着用を認める。）

④ 入館者は原則として全員マスク着用とするが、熱中症のリスクを考慮し、適宜マスクを外す等の対策をすること。ただし、団員についてはアップ及び試合中は着用しなくてよい。なお、ベンチスタッフ・記録員・ラインジャッジ・点示員は原則マスク着用とするが、熱中症のリスクを考慮し、呼吸が苦しい状態にならないよう、必要に応じてマスクを外す等の対応をすること。

⑤ 審判チームは記録席に消毒液を準備すること。試合球は除菌を行って、できるだけ交換しながら使用すること。また、試合終了後、ラインフラッグ及び記録員と点示員のイスを除菌すること。

⑥ 試合開始及び終了時の握手はしない。（アタックライン上で一礼する。）なお、コイントス時や審判の握手もしない。（一礼に変える。）

⑦ コートチェンジの前にベンチスタッフがベンチの除菌をすること。（審判は除菌が終わったのを確認後、コートチェンジの吹笛をする。なお、記録に記入する、次のセットの開始時刻は、実際の時刻を時計で確認し、記入することとする。）また、試合終了後は選手がベンチを空けてから、ベンチスタッフがベンチの除菌をすること。

⑧ 熱中症予防対策として、テクニカルタイムアウトは７点･１４点時の２回とることとする。（３セット目は８点時のみ）また、各チームにおいてもこまめに水分補給をするなど対策に十分努めること。

※ 他にも各会場で独自の対策をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。